



分裂策動は許さない！大宮地本見解を発出！！

分裂策動を行う組織破壊者たちを許さず、
中央本部と共に新生JR東労組運動を創りだす大宮地本見解

JR東労組大宮地本は、18春闘を「大敗北」と総括し組合員の声に真摯に向き合い新生JR東労組運動を中央本部と共に進めてきた。そして、組織の存亡をかけた組織再建の取り組みでは、全体で100名を超える仲間がJR東労組へ結集している。

一方で東京・水戸・八王子地本執行部は、大会で決定した方針を無視し、12地本の統一闘争を乱す行為を繰り返している。不当労働行為に抗するたたかいは『第38回定期大会』で12地本の統一闘争でたたかう事を方針決定した。しかし、水戸地本は11月11日に「不当労働行為救済申立」を行い、東京地本も12月26日に4名が「個人訴訟」を行った事を全面的に支援すると明らかにしている。これらの事象は、中央本部に連絡・相談・報告を一切することなく勝手に行われている事であり、組織として認めることはできない。

大宮地本は組織問題の克服に向けて、12月23日に『緊急全支部・全分会代表者会議』を開催した。参加者からは「職場のたたかいや団体交渉の中身が示されない中で、第三者機関の活用を目的としたパフォーマンスでしかない」「大会決定や組織指導に従わないのであれば東労組から出ていくべきだ！」「どれだけ組合員を振り回せば良いのか」等の怒りの発言があり、12地本の統一闘争を乱す行為を許さないことを確認してきた。

そのような中、東京・水戸・八王子地本の職場内で、新生JR東労組運動と決別し分裂しようとする動きが報告されている。ある職場では「JR東労組に残るか」「分裂組織に入るか」「組合を辞めるか」の選択を迫られているという報告があった。組合員からは「組織を分裂させたくない」「この先が不安である」「このような一部指導部に怒りしかない」という多くの声が本部に寄せられている。分裂を画策している者たちは、組織方針を守らず、思い通りにならないため、中央本部を意図的に批判し、JR東労組運動を担ってこなかったのである。自らの意見が通らなければ、嘘と誤魔化して自己利益のために組合員を不安に陥れるような指導部がつくる組織に未来はない。

組合員のみなさん！騙されてはいけません。分裂組織には労働協約もなく組合員を守る根拠が何一つありません！東京・水戸・八王子地本の一部執行部は、組合員を守るのではなく自分たちの失敗を顧みず、自己保身で組合員を引き回しているだけなのは明らかである。

このような事を許さず、大宮地本から分裂組織に加入する仲間を出してはならない。分裂組織をつくるような組織破壊者を許さず、大宮地本は今後もJR東労組中央本部と共に組合員の雇用と利益を第一に考え、職場問題を解決し組合員と共に正々堂々とJR東労組運動を推し進めていく。JR東労組を破壊する全てのものとたたかっていくことを明らかにし見解とする。

2020年1月27日
東日本旅客鉄道労働組合
大宮地方本部

全組合員で読み合わせをせよ！

組合員の利益と雇用を守るため、新生JR東労組に結集しよう